

団体名



団体facebook

# ねりまワインプロジェクト

事業名

食農文化のまち練馬  
～ALL練馬でワインづくり～



# メンバー一覧

	氏名	所属など
代表	越後屋 美和	東京ワイナリー
	堀 将人	東京野菜普及協会
	高野 宰	Chinese Tapas Hachi
	高野 律	同上
	海野 真幸	NPO法人自然工房めばえ
協力農家	白石 好孝、井口 和喜、関口 俊一、 加藤 晴久、加藤 直正、山口 卓、 瀧島 信彦	
プロフェッショナルリーダー 養成講座講師	横町 崇 中山 喜一郎	
プロフェッショナル リーダー養成講座受講生		第1期、第2期 計50名
ねりまワインプロジェクト ファームメイト		練馬区民 403名 練馬区外 159名 計562名
兼務職員	赤沢 大希	人材育成課職場環境係
兼務職員	伊藤 佑里恵	生活衛生課環境衛生監視担当係

## 事業目的

- (1) “地産地消だから”ではなく“美味しいから”選ぶ、クオリティの高い「地域ブランドワイン」の開発
- (2) 農家、加工品生産者、飲食店等を巻き込んだ活動で、練馬を「食農文化のまち」として内外にPR！

## 3年間の到達目標

- (1) 練馬産地域ブランドワインを新たに開発
- (2) 区民の参加と協働で、練馬が誇る地域ブランドを育てる！

## 前年度までの取り組み結果

### ① 協力農家および農地の確保・拡大

- ・ワイン用ぶどうを植える農地の確保および拡大に向け、チラシ等の活用による農家への活動周知
- ・プロジェクト開始時 4農家 ⇒ 平成31年3月 6農家

### ② サポーターの募集

- ・「ねりまワインプロジェクト」のFacebookを開設（平成30年10月～）
- ・プロジェクトの活動に賛同し、一緒に活動してくれるサポーター「ファームメイト」を募集（平成30年12月～）

#### ◆ 「ファームメイト」（登録無料）

⇒ プロジェクトの活動を応援してもらおうサポーターで、農作業体験、醸造体験、イベントへの参加などを通して、練馬の農業に触れあってもらう。

# 令和元年度当初の事業計画

## ① 安定的な事業運営に向けた仕組みづくり

- ・ 農地の確保および拡大
- ・ ワイン用ぶどう栽培における担い手の育成

## ② ファームメイト活動の充実

- ・ ファームメイト向けイベントの実施

## ③ 都市農業の魅力発信

- ・ 世界都市農業サミットでのPR活動
- ・ Facebookを活用した情報発信、区報への掲載、募集チラシの配布

## ④ 練馬産地域ブランドワインづくり

- ・ 「ねりまワイン2019」の完成

# 令和元年度実際の事業進行

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①事業運営	ぶどう畑の確保				自社畑の獲得							
	プロフェッショナルリーダー養成講座（第一期）										第二期開始	
	ぶどう畑の維持・管理											
②ファームメイト			ファームメイト向けイベントの実施（月1回のペースで実施）									
③魅力発信	Facebook発信（随時）											
						世界都市農業サミット						
		区報掲載	募集チラシ配布（随時）									
④ワインづくり					ぶどうの収穫				ラベル作成			ワイン完成
					ワインの醸造		ワイン熟成		ラベル貼り 瓶詰作業			

# 令和元年度の取り組み結果（1）

## ① 安定的な事業運営に向けた仕組みづくり

### （1）農地の確保および拡大

- ・ぶどう畑の数：7か所（11品種、約450本の苗）
- ・東京ワイナリーが、耕作されていない農地（1,710m<sup>2</sup>）を所有者から賃貸借契約し、自社ぶどう畑としての活用を開始

👉 令和4年以降、約2,000～3,000kg（ワイン換算約2,000～3,000本）のぶどうの収穫を目指す



# 令和元年度の取り組み結果（1）

## ① 安定的な事業運営に向けた仕組みづくり

（2）ワイン用ぶどうの栽培における担い手の育成

- ・ 第一期プロフェッショナルリーダー養成講座を開始（有料）
- ・ 平成31年3月から9月まで全7回（平日・土曜コースの2コース）
- ・ 平日コースと土曜日コースを合わせて、30名受講

- ◆ 「プロフェッショナルリーダー養成講座受講生（プロメンバー）」  
⇒ 畑の管理に参加しながら、ぶどう栽培やワイン醸造に関する知識と技術を学び、講座終了後もファームメイトの活動やぶどう畑の管理をサポートする役割を担う

ファーム  
メイト

プロメンバー



成果

自社畑の確保  
人材育成の土台となる仕組み  
ができた

# 令和元年度の取り組み結果（2）

## ②ファームメイト活動の充実

### （1）ファームメイト向けイベントの実施

実施月	イベント内容
6月	ファームメイト交流会セミナー
7月	傘紙かけ体験
8月	ワイン講座
9月	収穫・醸造体験
10月	ラベルデザインの募集
11月	大泉地域まちあるき
2月	瓶詰め・ラベル貼り体験



成果

ワインづくりや都市農業に触れる機会を提供

# 令和元年度の取り組み結果（3）

## ③ 都市農業の魅力発信

（1）世界都市農業サミットへの出店

日時：12月1日（日）10時～15時

場所：平成つつじ公園

👉ねりまワインプロジェクト独自でブースを出店



### ◎出店内容

- 1、ホットワインの販売
- 2、ワインコルクを使ったコルクアートのワークショップ
- 3、プロジェクトの活動を映像やパネルで紹介、募集チラシの配布

※企画・実施はプロメンバーが担当



# 令和元年度の取り組み結果（3）

## ③ 都市農業の魅力発信

### （2）活動内容の情報発信

- ・ 区報への掲載および募集チラシの配布
- ・ Facebookによる情報発信

**ねりまワインプロジェクトの「ねりまワインファームメイト」を募集!** 問合せ 協働推進課 ☎5984-1614

ねりまワインプロジェクトは、東京初のワイナリーと区内農業者などで結成した団体です。ぶどうの栽培や練馬産ワインの開発を通じて、練馬区を「食農文化のまち」としてアピールする活動を行っています。今回、この活動に協力していただく方を募集します。  
※このプロジェクトは、区民の皆さまと区が協働して行う「地域おこしプロジェクト」の事業です。

**活動内容**  
東京ワイナリー（大泉学園町2-8-7）や大泉地域の畑を中心に活動しています。  
●ぶどうの栽培・収穫 ●ワインの醸造

**申し込み方法**  
●ハガキで  
①ねりまワインファームメイト②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥電子メールアドレスを、〒176-8501区役所内協働推進課へ  
●インターネットで  
ねりまワインプロジェクトのフェイスブック(<https://www.facebook.com/nerimawineproject/>)にあるファームメイト募集の投稿記事をご覧の上、申し込んでください  
二次元バーコードを読み取ると申し込みフォームにアクセスできます

【区報（5月11日号）の紙面】

**ねりまワインファームメイト 大募集!**  
練馬産ぶどうで美味しいワインを作るプロジェクト

ねりまワインプロジェクトは「地産地消だから」ではなく「美味しいから」選ぶ、クオリティの高い練馬産の「地域ブランドワイン」を開発し、23区最大の農地を誇る練馬区を「食農文化のまち」としてアピールするプロジェクトです。  
今回、この活動に賛同し、ぶどうの栽培や収穫作業、ワインの醸造作業に協力してくれる仲間、「ねりまワインファームメイト」を募集します。奮ってご応募ください!

**ねりまワインファームメイトの活動**

- 1 ぶどう栽培・収穫作業**  
美味しいぶどうを育てるため、実際に畑に出て活動を行います。草むしりや防虫対策、間引き、収穫作業など、作業は多岐に渡ります。大変ですが、手塩にかけた苗木から実がなった時の感動はひとしおです!
- 2 ワイン醸造作業**  
収穫したぶどうを使い、実際に手作業でワインを作ります。ワイナリーにて【破砕→圧搾→発酵→瓶詰・コルク打ち・ラベル貼り】など、ぶどうがワインになるまでの工程を行うことができます。
- 3 ワイン試飲会・セミナーなどのイベント開催**  
「ワインの楽しみ方を学ぶセミナーや試飲会への参加」や「苗木のオーナーとなる権利」、「ボトルのラベルデザイン」...など様々なイベントを企画していく予定です!

**ねりまワインファームメイト プロフェッショナルコース**  
練馬でワイン用ぶどうの栽培をより本格的に学びたい方向けに、「プロフェッショナルコース」講座をご用意!ぶどうの苗木についての知識から、ワインの醸造方法までを学ぶことができます。(通年講座、有料)  
※別途、費別途があります  
※ご希望の方は、まずは、下記の手順でファームメイトにお申し込みください

**ねりまワインファームメイトになるには?**  
手順  
①スマホでQRコードを読み込み  
②必要事項を入力、送信!  
③登録完了メールを受信!

お問い合わせ先  
◆ねりまワインプロジェクト  
練馬区地域文化課 平日 9:00~17:00  
TEL ☎03-5984-1614  
KYODOUSUSHIHO3@city.nerima.tkyo.jp  
(東京ワイナリー 平日 11:00~16:00)  
TEL ☎03-3867-5525

【募集チラシ】

# 令和元年度の取り組み結果（3）

## ③ 都市農業の魅力発信

(3) ファームメイト登録者数およびFacebookフォロワー数

○ファームメイト登録数

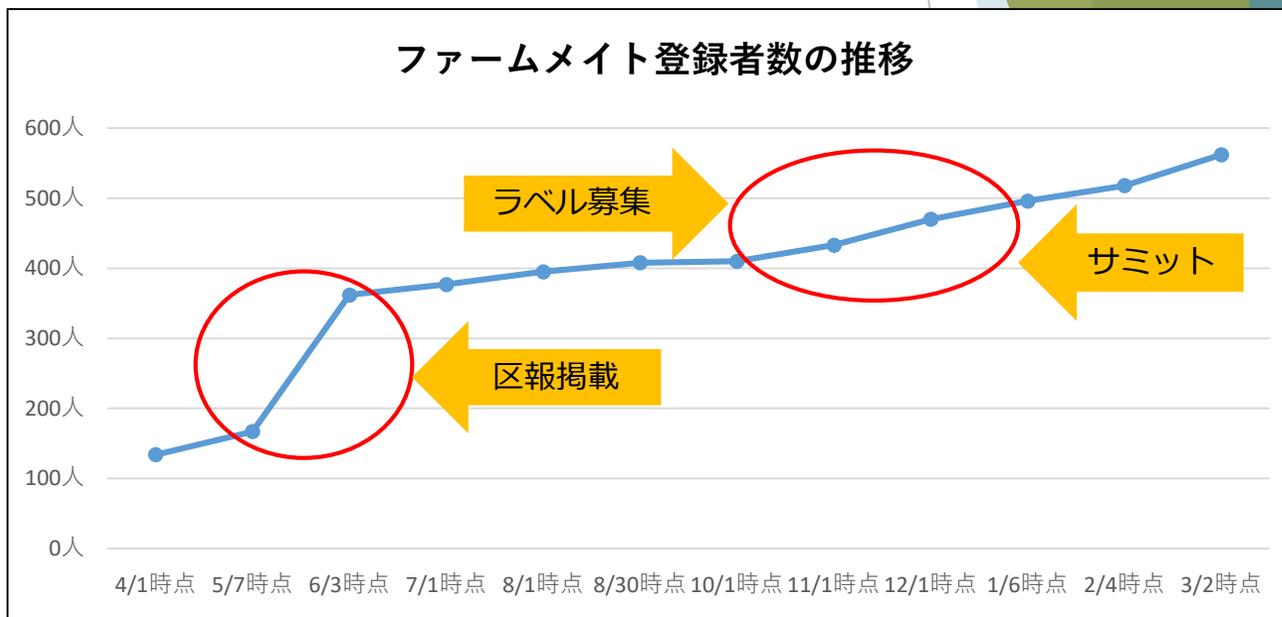
平成31年4月1日時点：134人

令和2年3月1日現在：562人

○Facebookフォロワー

平成31年4月1日時点：約370人

令和2年3月1日現在：約560人



成果

PR活動によりファームメイトが大幅に増加

# 令和元年度の取り組み結果（4）

## ④ 練馬産地域ブランドワインづくり

### (1) ワイン用ぶどうの収穫およびワインの醸造作業（令和元年9月）

- ・ 収穫および醸造作業を実施

👉今年度は2か所のぶどう畑から赤2種類・白2種類を収穫

👉作業の一部をファームメイト向けのイベントとして実施し、

ぶどうの収穫とワインの醸造体験ができる場を提供



### (2) ワインラベルの作成（令和2年1月）

- ・ ラベルデザインをファームメイトから募集し、オリジナルラベルを作成

👉応募のあった全23作品から2作品を選出

**「(仮称)ねりまワイン2019」ラベルデザイン大募集!**

練馬区内で育てられたぶどうで作った「(仮称)ねりまワイン2019」が完成に近いです。ぜひオリジナルラベルデザインを募集しています。みなさんのワインへの思いを、形に残していませんか?

応募資格 応募日責任、ねりまワインプロジェクトファームメイトに応募済みの方

応募方法 メール・郵送・練馬区協賛施設連絡窓口にご郵送提出

締切 令和元年11月25日(月) (必着)

募集 ねりまワインプロジェクト事務局による審査により決定します。

賞品 採果の方には、完成したオリジナルラベルと「ねりまワイン」(720ml)を1本贈呈します。

結果発表 採果の方のため、令和2年1月31日(金)までに公開します。採果したラベルデザインはねりまワインプロジェクトで発表します。8月下旬に開催予定のイベントの中で完成したワインのお披露目を行います。

ラベルデザインを募集するワインは、以下の種類です。

- \* 白ワイン  
リースリング85%・シャルドネ15% 使用
- \* 赤ワイン  
ピノタージョ85%・タナ15% 使用

※ 各樽は12本装に「ねりまワイン」です。また、どちらも返却処理を行わず、精満まで仕上げたものが残ります。

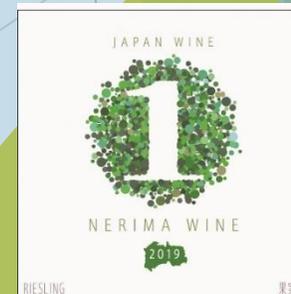
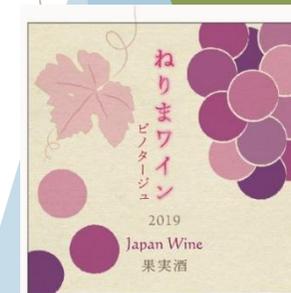
ワインボトルおよびラベルの規格

- ✔ボトルの色は、白ワインが透明、赤ワインが緑色を使用し、容量は720ml、幅70mmのボトル一本です。(寸法書2/20)
- ✔ラベルデザイン面の大きさは縦横10.5cmの正方形です。
- ✔ラベルの裏面は対応シールとし、フルカラーで印刷します。

主なラベル作成上の注意事項 (参考)

- ① 「日本ワイン」の表記を記載してください。(「Japan Wine」などの英語表記も可。)
- ② ひび割れは修理を依頼してください。
- ③ (白ワイン用)リースリング、赤ワインはピノタージョです。
- ④ ぶどうの収穫年(2019年)を記載してください。
- ⑤ 「ねりま」の表記を10文字以上で任意で記載してください。
- ⑥ 縦横データは10mm単位とし、JPG、GIFまたはPDF形式で作成してください。

ラベルデザインの応募をするには、ファームメイトへの登録が必要です。詳しくは募集へ



## 令和元年度の取り組み結果（４）

### ④ 練馬産地域ブランドワインづくり

（３）ねりまワイン2019【赤・白】の完成（令和２年２月）

・命名：「**ねりまワイン**」

練馬産のぶどうだけで作られていることを伝えたい！

愛着を感じてほしい！

・ワインの種類および使用した品種

赤ワイン      ピノタージュ85%    タナ15%    使用

製造量：フルボトル 13 本    ハーフボトル 5 本

白ワイン      リースリング85%    シャルドネ15%    使用

製造量：フルボトル 35 本    ハーフボトル 5 本

※一般販売は実施せず

成 果

練馬で初となる地域ブランドワイン  
「ねりまワイン2019」が完成



## 令和元年度の成果

### ① 安定的な事業運営に向けた仕組みづくり

- ・ 自社畑の確保
- ・ 人材育成の土台となる仕組みができた

### ② ファームメイト活動の充実

- ・ ワインづくりや都市農業に触れる機会を提供

### ③ 都市農業の魅力発信

- ・ PR活動によりファームメイトが大幅に増加

### ④ 練馬産地域ブランドワインづくり

- ・ 練馬で初となる地域ブランドワイン「ねりまワイン2019」が完成

# 令和元年度の課題

## ① ファームメイトへの情報発信

PR活動の効果もあり、ファームメイトの登録数は大幅に増加したが・・・

☞ プロジェクトや都市農業に対する関心を持ち続けてもらうための取組が必要

## ② 安定的な事業運営に向けて

農地の確保や人材育成の土台となる仕組みはできたが・・・

☞ ワインを安定的に生産できる体制が整っていない

☞ 消費者の手に取ってもらうためにも、「美味しいから」選んでもらうワインの開発が必要

## 令和2年度の計画

### ① より「農」が見える情報の発信

- ・ファームメイトにプロジェクトへの関心を持ち続けてもらうため、Facebookなどで定期的にぶどう畑の様子を発信するなど、より「農」のある風景を身近に感じてもらえる取組を行っていく

### ② 持続可能な事業運営に向けて

- ・協働事業終了後も継続的な運営が行えるよう、「ねりまワイン」の収益化に向けたスキームをつくり、担い手の育成にも力を入れる
- ・プロジェクトが所有するぶどう畑の管理システムを確立し、安定した量のワインを生産できる体制をつくる
- ・練馬の土に合うぶどうを見極め、練馬ならではの味わいを持つ美味しいワインの開発を目指す

# 令和3年度以降の展望

## ① 区民の生活に「農」がある風景が根付く！

- ・ぶどう畑を利用し、マルシェやグルメイベントを開催
- ・区内の飲食店でも気軽に「ねりまワイン」を味わえる

## ② プロフェッショナルリーダー養成講座卒業生の活躍

- ・ぶどう畑の自主管理
- ・畑作業のリーダー的役割
- ・ファームメイト向けイベントの運営

